

5月号

第424号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

何事も
なすには
あらでなさしむる
神のめぐみの
ありがたきかな
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



※新型コロナウイルス感染症防止対策に、
十分気を付けさせていたたきましよう。

勸学祭

仕えられる

クンシランが御神前で開きだした
四月一日、教会では月例祭に併せて
「勸学祭」が仕えられました。

健康で学業に励むことができてきた御礼と、これからの学業成就などのご祈願をさせていただきました。

ご祭典・記念品授与の写真は、カメラのご機嫌が良くなかったのか写っていませんでしたが、代表で大山ことのおさん(新中一)、大山幸人君(小四)がお祖母さんの純子さんと一緒に
お参りができ、玉串を奉奠ほつてん
させていただきます。

今年度小学校に新入学の、有蘭華さんと、永原佳歩さんには、信徒会・少年少女会から、お祝いの記念品が贈られました。

勸学祭では、神様に「教会参拝、少年少女会への参加もよくでき、社会(よ)の、お道の、お役に立つことのできる人へと信心の成長ができますように」と、祭詞(さいし)が奏上され、御祈願申し上げられました。

勸学祭…P1 「難を逃れきれる信心」…P2~3 青木トミ子氏「難はみかげ」…P4~5
「チャレンジカード」に取り組みましよう！…P6 教会行事…P8

「難を逃れきれぬ信心」

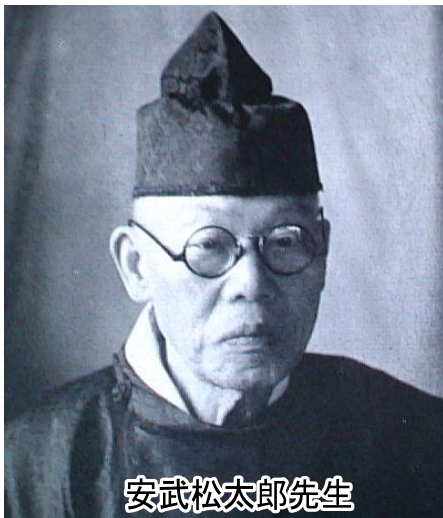
新型「コロナウイルス感染症を
乗り越える」ことの信心

いっしん

▽桂川町のNさんについて

安武松太郎先生の『教話集』に、明治四十年頃、嘉穂郡桂川町に、熱心に信心してすいぶん奇跡的なおかげを頂いていたNさんという人がおられたということです。

いつとはなしに姿を見なくなり参拝が途絶え、昭和三年にたまたま桂川町から参った人に、Nさんのこと



安武松太郎先生

を尋ねられると「Nさんは三年前に炭鉱で亡くなりました。・・・しかしらばNさんは信心をやめられたから罰でもかぶったのでしょいか」と言われました。

すると安武松太郎先生は「いや、親神様はそんな野卑な、慈悲のないお方ではない。まあ考えてごらんなさい、・・・それは信心がなくなつたから難を逃れきれないのです。あなたもよく考えて、いかなることに遭遇しても信心を失わないように。人は達者であればなおさらのこと、達者にして働かせてくださるおかげをいっそう感謝し奉るの誠意をささげて仕え奉ること。お願いよりも、お礼がさらに大切ですよ。」と教え諭されています。

▽難儀を逃れるには

炭鉱事故のことを調べてみますと、この地方（現飯塚市周辺）では、前述の大正年間だけでも、三度の炭鉱

爆発事故が各所で起こり、合計千人以上の死者が出ています。それ以前の明治年間にも、三度の爆発事故で千人近くの死者が出ています。

この時代、その死者数は、新型「コロナウイルス感染症流行の比ではありません。そのように、厳しい難儀がたくさんある時代だったのです。

そのような時代に、難儀に逢わないためにどうすれば良いのか、安武松太郎先生は前述のように、

「それは信心がなくなつたら難を逃れきれないのです。いかなることに遭遇しても信心を失わないように。人は達者であればなおさらのこと、達者にして働かせてくださるおかげをいっそう感謝し奉るの誠意をささげて仕え奉ること。お願いよりも、お礼がさらに大切」と教えられています。

こここの部分の表現を換えてみますと「すいぶん奇跡的なおかげを頂いていても、おかげをもらって安心して腰を下ろして怠るような信心では

大難が来た時に逃れることができない、大難を逃れることのできる信心は、親神様のご神徳・大恩を知って、親神様のみ心に沿う、御礼・感謝を心よりささげ奉る信心です」と言い換えられます。

▽サダ子刀自の場合

また、加治木教会の、先の教会長夫人故矢野サダ子刀自は、結婚後間もなく肋膜炎（結核の前段階）に罹患され、おかげを蒙られた時のことを次のように語られています。

「結婚後すぐに先生（夫政美大人）は出征しました。その後、間もなく私は肋膜炎を発病し、里の三奈木に帰り養生していましたが、やがて十文字の病院に六ヶ月間入院しました。この間、腹部の激痛に悩まされ、寝たぎりの生活で、足先を少しでも動かすものならお腹に激痛が走り、食事も排便も寝たまま、義母（矢野クラ刀自）の介抱を受けました。この時、義母がご先代（初代安武松太郎先生）にお取次を頂いてくれました。そのような中で、お医者さ



矢野サダ子刀自
(H18年 布教55年記念祭)

んが手術の日を決められました。するとお医者さんが風邪を引かれ、一週間休みを取られました。ちょうどその一週間の間に、さしもの肋膜炎の病気に快復のきざしが見えました。するとお医者さんは、快復の様子を見られ『これなら手術の必要はない』との診断で、それより徐々に快方向かい、やがて退院することとなりました。手術の日取りが決まったら、お医者さんが風邪を引かれなかったら、私は快復のおかけを頂けなかったのです。その病院で一緒に入院してあった同病の方は五人でしたが、後に皆亡くなられ、私だけが助かりました。義母の信心のおかげです。」

このことがあったので、後々夫婦でお道の教師としての御用に立たれる決心がついたことも語っておられました。

▽「親神様の御立場に立った信心」

いつも教話でお話ししておりますように、矢野クラ刀自が安武松太郎先生から教え伝えられた「親神様の御立場に立った信心」というのがまさに、親神様のお恵み・お働き・思し召しをよく知り、報恩・感謝の真心を捧げて行く信心であります。

「自分中心・自己中心におかげを願う信心」から「親神様の御立場に立った信心」にすっかり変わって信心が進んで行かれたその道筋と内容を、しっかり復習し再確認させていただいて行きましょう。

それが、新型コロナウイルス感染症をも乗り越えることのできる信心と言えるのではないのでしょうか。

（教会長）

「難はみかげ」

一 起きてくる事柄を通して
名城教会 青木トミ子

長男が多発性骨髄腫に…

宮川花子さんと同じ難病
命を助かり、家族信心に

青木トミ子氏の、名城教会での感話発表の原稿
を何回かに分けて掲載させていただきます。

【青木家の信心の始まり】

青木トミ子さんの旧姓は向江で加治木
教会の故政美親先生（布教昭和二十八年）
の当初に両親がご神縁を蒙り、農作業等お
かけを蒙り家族で信心を進め、実姉は医者
も見放す病氣から回復のおかげを蒙りお
道の教師に。のちに仕事を求め、家族で愛
知県に移り、現在は愛知県愛西市で夫の宗
一さんと二人暮らし。

【10歳までのお話の要旨】

トミ子さんとご夫妻は、実姉 故向江ナツ
工先生が御用しておられた、佐屋教会（加
治木教会から愛知県で布教）が閉鎖された
後、お世話下さっていた河合利男先生が御
用される名城教会に参拝。教会参拝、御本
部参拝、信心集会（年三回）と信心に励む
中に、ご本部参拝中に転んで骨折入院、両
目の眼病手術、次男の所で超未熟児の早産。
次は、長男に多発性骨髄腫が見つかり入院
治療。その後、車イス生活とはなるもの、
命は取り留めることができた。



青木トミ子氏

青木宗一氏

◆車イス生活の中で④

次のお話は、（昨年の）四月九日か
らの事です。

息子（長男）は、大学病院での治
療が終わり、命だけは取り留めるこ
とができました。

リハビリのため、病院を転院しま

したが、色々の事で悩み、元気をな
くすことがありました。

主治医の先生から「これからは車
イスでの生活に」と言われる度に、
食事が出来なくなったりしておりま
した。

私は「神様が治して下さいるのは、
暇が掛かる替わりに病気の根から治
して下さいるので、神様を信じなさい
よ」と伝えました。

その後、本人が直接メールで教会
長先生にお取次をさせて頂くようにな
ってから、四月二十八日、教会の大
祭の前日、足の指が動くようにな
って、五月の連休明けには、足首も
動くようになり、ベッドから、車イ
スに自分で移ることが出来るようにな
りました。

部屋も個室から大部屋に移ること
が出来て、本人も元気になって、神
様を信じるようになってきました。

私達もそれからは、息子が退院し
たら神様をお祀りさせて頂けるよう
なおかけを頂きたいとお願いしてい
ました。

七月末、二回目の検査を受け五ヶ
所の癌はすべて神様が洗い流して下

さり、全部なくなっていました。

今にして思えば、二ヶ月間原因が分からなかったので、手術が出来ませんでした。

そのため、下半身は思うように動かすことが出来ませんが、上半身は手術をしなかったため悪くないので、リハビリすることもなく、食事も何でも頂けます。

胸を開き手術をしていたらと思うと、神様がご都合お繰り合わせを付けて下さり、助けて頂いたのだと思います。

息子は今も一人で立つ事も歩くことも出来ず、車イスの生活ですが、八月二十日、入院して七ヶ月目に退院のおかげを頂きました。

早速、教会へ電話にて、退院のお礼と、引き続きのお願いのお取次をさせて頂きました。

◆お社を祀り家族信心に◆

かねてより私は「家族で信心して頂けるように、神様のお社を家にお祀りできるように」と願って伝えてもありませんが、息子が病気になるまで十ヶ月、退院して二十日目に、本

人も「お祀りするなら、自分の部屋に」と願いを立て、準備を進めることになりました。

そのようにして、九月八日に、親先生(名城教会)と、お社のお伴をさせて頂き京都に向かい、帰教式をお仕え頂きました。

息子の自宅に神様をお祀りさせていただく事が、親神様の願っておられた事、おかげの中の出来事だと思えます。また、次男の家には、二十年前から神様をお祀りさせて頂いております。

二人の息子が、京都と大府(愛知県)から名城教会へお参りさせていただくことができるようになりました。

教会長先生からは、「日々の信心が大切ですから、近くの教会を紹介しましょうか」と仰っていただきましたが、息子達は「お母さん達が参っている教会へ参りたい」と、年に数回の参拝ですがおかげを頂いております。

これから先も、色々なことがあるかもしれませんが、信心を続けさせて頂き、お取次を頂き、素直にみ教

えを聴かせて頂き、三家族仲良く助け合って、難儀なことに会っても乗り越えていくおかげを頂き、「難はみかげ」にさせて頂くことを願っております。

話が後先になってお聞き苦しかったことと思いますが、私の話を聞いてくださりありがとうございます。これで終わります。

(おわり)



昭和57年 佐屋教会布教10年記念祭に加治木から、政美親先生(前列中央)のお供で参拝の皆さん、サダ子親奥様(右端) 福山悦子氏(左端) 瀬尾田鶴子氏(右から4人目) 宮内ミツル氏(右から3人目) 平地セイ氏(右から2人目)

向江ナツエ先生(前列左) 青木トミ子氏(後列左から2番目)

子どもたちは「チャレンジカード」

とりにくみます！

少年少女会「チャレンジカード」は、五月から七月までの、信心の「取り組み表」です。

「第73回 少年少女全国大会」に向けての取り組みです。八月八日(土)・九日(日)の開催は、今後の状況を見て判断される予定です。

しかし、日々の信心の取り組みは、神様に感謝をささげる信心の稽古ですから、大会が開かれなくても、取り組ませていただく意味合いは十分あります。

毎日取り組みらせていただくことに意味があります。

取り組みが終わったら、教会にお届けください。神様に、厚く御礼申し上げます。

(すでに配布しておりますが、必要な方は教会までお知らせ下さい。)

「チャレンジカード」の

取り組み項目について

★お結界であいさつをする

★「ありがとう」ははっきりと言つ

★家事を手伝う

★ひとりであとかたづけをする

★ハミガキ、手洗い、うがいをする

★準備体そうをする

★嫌いな食べ物を少なくする

★日課表を作り、生活をする

★「けいこ」を続ける

★今日一日の報告を家族にする

★ (自分や家族で設定しよう)

★ (自分や家族で設定しよう)

★ (自分や家族で設定しよう)

このような十二項目です。

その中の三項目が守れた日は、カラーシールを貼ります。

子どもたちだけでなく、お父さん・お母さん・お祖父さん・お祖母さん、みんなで応援してください。

六月末まで取り組んだ人は、教会に持ってきてください。神様におそなえしてお礼申し上げます。教会の少年少女会からも、ステキなごほうびをいただけます。



**「おとなは、全国信徒会発行の
「取り組み表」
取り組みましょう！」**

全国信徒会・鹿児島地方教会連合会信徒部では、七月一日から「チェックシート」(取り組み表)による「三十日信行」か「百日信行」に、勢をそろえて取り組ませていただくことになりました。

「祈願用紙」の取りまとめは

五月二十二日まで、

「チェックシート」の取りまとめは
十月二十二日まで、

となっております。ともどもにおかけを蒙らせていただきましょう。

		祈念さ実行		朝の日参り教会の礼拝		夜事訓を唱える		水を使わずに頂く時にお礼		便、排水にお礼		健康を回復しお礼		()月 / 日	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※募金は教会の
支援金箱にどうぞ

15号・19号はじめ、
各地で発生した豪雨・
地震・火災で被災された
方々、新型コロナウイルスに
罹られた方々の、一日も
早い復興、快復、安心、
立ち上がり、お祈りさ
せていただきますま
しょう。

那覇市・首里城火災の再建義捐金
へも協力させていただきます。

鹿児島地方教会連合会
「社会活動支援金」の
振込先は「ゆうちょ銀行」
<記号> 17820
<番号> 19085871
<名義> 金光教鹿児島災害対策室 代表 矢野章



あしあと

加治木教会行事記録

- 4月
- 1 (水) ●報徳月例祭・勸学祭 10時半
- 3 (金) 甘木親教会参拝日
- 7 (火) (連) 安武孝子媛四十五年祭 10時半
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●生神光月例祭 10時半
- 12 (日) ●大神月例祭 11時
- 10 (日) 人吉教会 御大祭 11時半
- 15 (水) 連合会執行部会 14時半
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭 共助会 13時半
- 25 (土) 甘木親教会御大祭(遥拝)
- 26 (日) 上荒田教会御大祭(内々で奉仕)
- 30 (火) 清掃御用 10時

ご霊神様のおまじない

五月

- 平地ヨシ子之霊神(1日)昭和18年
- 松田俊夫之霊神(3日)昭和20年
- 福元久伸之霊神(5日)平成9年
- 信國道雄之霊神(6日)平成16年
- 信國道子之霊神(10日)平成27年
- 田中恵之霊神(10日)平成29年
- 庄村ヒテ之霊神(12日)平成12年
- 津上國臣之霊神(14日)平成18年
- 吉屋紀元之霊神(20日)平成29年
- 向江喜右衛門之霊神(20日)昭和54年
- 中園千恵子之霊神(23日)平成25年
- 向江ハツギク之霊神(28日)昭和47年
- 須藤実行之霊神(29日)平成13年



「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

五月三十一日(日)

※前日 清掃御用のみ

〔祭典〕午後一時三〇分

加治木教会

天地金乃神御大祭奉仕

祭典後、教話

※お直会は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、簡単なものをお持ち帰りいただくことにします。

《御大祭》

五月二十三日(土) 大口教会 12:00

五月三十一日(日) 加治木教会 13:30

※他の教会は、内々で仕えられます。

五月二十四日(日) 十時半より

少年少女会 野外調理

仙寿の里温泉の森で、親子で野外調理をします！ ※状況等により変更がある場合があります。

六月十日(水) 前 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

布教69年記念祭奉仕

※祭典後、教話。

教会行事

5月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (日) 多良木教会御大祭 (内々で奉仕)
- 5 (祝) 西鹿尾島教会御大祭 (内々で奉仕)
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●月例祭 生神金光 大神様 10時半
- 17 (日) 鹿尾島教会御大祭 (内々で奉仕)
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 大口教会御大祭 12時
- 24 (日) 新原教会年記念祭 (来年に延期)
- 少年少女会野外調理 10時半
- 30 (土) 清掃御用 10時
- 31 (日) 加治木教会御大祭(精霊) 13時半

御大祭は縮小気味で仕えられます。前日の直会準備御用もありませので、「信行期間」に参拝し信心の稽古・研修に励ませていただきます。しょう。ビデオ講話で研修をします。

五月十八日～五月二十九日
御大祭前信行期間

ご祈念のみ 午前四時・午後九時
ご祈念のみ 午前五時十五分・午前十時

6月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (月) 親教会参拝日 (参拝未定)
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (水) ●月例祭 生神金光 大神様 10時半
- 併せて加治木教会布教69年記念祭
- 14 (日) 御本部教団独立記念祭 遷葬 10時
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 26 (金) 27 (土)
- 甘木親教会 教師婦人部会
- 29 (月) 清掃御用 10時
- 30 (火) 上半期感謝祭 10時半

